

平成30年度 事業計画

日本の観光はビジット・ジャパン・キャンペーンが始まる直前の平成15年、出国日本人旅行者数が1,652万人に対し、訪日外国人旅行者数は524万人でした。平成29年、訪日外国人旅行者数は2,000万人を超えましたが、その8割以上がアジア人となっています。

日本の円がどんどん海外へ流出し、高齢化と人口減少による国内消費額は低迷されることが予想されていました。この状況の悪化を防ぎ、日本国内の経済活動の低下に訪日外国人を積極的に受け入れ、雇用創出と経済の活性化により日本経済を安定させるのが目的でした。その結果、日本を代表する観光地には外国人観光客がたくさん見受けられるようになりました。

しかしながら、日本国内で訪日外国人が立ち寄る地域に格差が生じ、受入体制の整備が整わない地域があるのも問題視されています。

白老町は平成32年4月、国立アイヌ民族博物館がオープンすることが決定しており、この時期に合わせて受入体制整備や道内外・海外へのプロモーションが必要不可欠になっています。国立博物館がオープンするまでの間、多くの訪問者が道内観光客を中心に白老町の「食」と「温泉」を楽しんでいただき国立博物館がオープンしても白老町内を周遊していただけるようなシステムを築かなければなりません。爆発的に増加することが予想される訪日外国人をいかに地域で滞留させるかは、大きな重点ポイントになるでしょう。

白老町が計画を進める「まちづくり会社」は、今後、町にとって大きな比重を占めることとなり、当協会としても移行を念頭に置き、話し合いの場への積極的参加を行って参ります。

●ポロト地域のアイヌ民族博物館は、平成30年3月31日、国立博物館オープンに向け閉館し、最後に開催された特別展には多くの来場者が訪れていました。国立博物館がオープンする、平成32年4月までの2年間は、道内客中心の情報発信を行いながら白老町内各施設への誘客を進めます。また、新しく国立アイヌ民族博物館・国立民族共生公園を運営する、公益財団法人アイヌ民族文化財団をはじめ、北海道登別洞爺広域観光協議会、登別市・白老町観光連絡協議会、北海道観光振興機構などと連携をとりつつ、国立博物館が100万人の入り込みを達成するよう努力して参ります。

●虎杖浜地域への対策としては、虎杖浜竹浦観光連合会と共に、引き続き源泉かけ流し宣言をした虎杖浜温泉の魅力アップを図りながら、虎杖浜かに・たらこ・温泉三大祭りや日帰りバスツアー等の開催、他市町内会老人クラブ誘客事業等を行い入込客増につなげて行きます。

●2000年の森ポロト自然休養林については、キャンプ場のPRや冬の風物詩となっているポロト湖のワカサギ釣りや農山漁村振興交付金を受け、今後の事業化を目指した活用を視野に入れながら、より多くの方々に愛される場を作って参ります。

●白老町は、白老牛や虎杖浜たらこに代表される特産品や温泉、四季の風景や豊かな自然を有しています。引き続き、ふるさと納税「白老町ふるさとGENKI応援寄付金」の特産品発送を実施し、白老町を全国にPRしてまいります。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	270,000 円
○各種観光事業集客広告事業	100,000 円
○誘導案内看板管理事業	133,000 円
○インターネット事業	80,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、登別市・白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業	320,000 円
○道内外特別誘客活動事業	1,000,000 円
○メディア強化事業	1,296,000 円
○虎杖浜温泉観光活性化事業	600,000 円
○「民族共生象徴空間」機運醸成事業	240,000 円

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	10,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、観光情報の提供のための観光案内所を設置するとともに町内の各施設へ誘導するための施策を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第29回白老牛肉まつり	6月	
○第7回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月	
○2018年元気まちしらおい港まつり	7月	100,000 円
○2018 BikeJIN 祭り in 北海道@白老	9月	200,000 円
○第41回登別漁港まつり	9月	
○第30回しらおいチェブ祭	9月	

5. 収益事業管理

ポロト地区への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する収益事業を行います。また、地域コーディネート機能の役割を中心とし職業体験や鮭遡上見学や白老ねっと商店等販売を推進しながら収益金の一部を一般会計へ繰り入れし、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと 2000 年の森管理業務（指定管理者 5 年）	10,010,000 円
○自転車・カヌー貸付事業	50,000 円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000 円
○ワカサギ釣り事業	1,271,000 円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	250,000 円
白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	10,000 円

6. その他

◇取り組みの事業概要

○観光資源推進活動調査費（まちづくり会社等）	20,000 円
------------------------	----------

7. 会議等

◇主な会議の概要

- 通常総会
- 三役会
- 理事會
- 専門委員会
- 各所属団体会議